

あるとき、数人の先生と一緒にタクシーに乗って帰りました。私はそのとき、助手席に座りました。すると、運転席側のダッシュボードの上に、リンゴが6個きれいに並べてあったのです。私は、そのことがとても不思議に思えて運転手さんに質問をしました。「なんで、リンゴが並んでいるんですか？」するとその運転手さんは、こう言ったのです。

「テレビでも5度ほど取り上げていただきましたが、私はだいぶ前からこうやってリンゴを乗せるようにしたのです。なぜかというと、素敵な香りのするタクシーに乗っていただきたかったのです。リンゴに行く着くまでに、様々なものを試しました。最初は、市販の芳香剤。しかし、どれもしっくりこないのです。所詮、つくられた香りなのです。そこで、フルーツの香りに目をつけ、様々なフルーツを試してみました。その結果、このリンゴに行き着いたのです。リンゴの香りは、リラックス効果やストレス緩和に効果があると言われていています。短い時間であっても私は、お客様に満足してもらいたいのです。自分の勤務が終わると、リンゴは長持ちさせるために冷蔵庫にしまえます。そして、この車を使用するもう一人の運転手とも約束をして、嫌な匂いが移らないように、決してこの車の中で飲食をしないようにもしたのです。さらに私は、週に最低2回は洗車をします。1日のうちに2回洗車することもあります。ワックスがけも週に1回は必ずします。とにかく、いつもきれいにしてお客様に満足してもらいたいのです。最近では、私のリンゴが腐る前に買い取ってジャムをつくられる支援者の方もいます。また、私を指名して下さるお客様もたくさんいらっしゃいます。」

「それだけ人気が出たのなら、真似をするタクシーもたくさんいたのでは？」と私が聞くと、「当然、たくさんいらっしゃいました。ところが、続かないのです。最初のうち、真似は出来たとしても、続けていくにはそれなりの根気やこだわりが必要なのです。ですから、リンゴを乗せているタクシーは、今では全国でも私と青森県を走っている1台だけだと聞いています。」

私は、とても感動しました。自分の仕事にここまでこだわりをもって取り組まれているこの運転手さんに出会えたことをとても幸せに感じました。そして、これこそが「プロ意識」ではないかと思ったのです。ただ、お客さんに乗せてお金をもらうのではなく、十分に満足して乗っていただくという「相手意識」、「お客様意識」をもって仕事をする。そして、常に向上心を持ち、努力をし、学び続けている。まさに「プロ」だと思いました。

「チーム大利」の私達教職員も、「プロ意識」持ち、常に向上心と探究心をもって、未来を創る子ども達のために、全力で取り組んでいきたいと思っています…